

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 13	中期総合計画主要施策番号	2-03,3-13	担当課	部・課	農政部 園芸畜産課	
事業名	安全・安心畜産サポート事業				内 線	3176	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H16 ~	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、トレーサビリティシステム信州モデル事業実施要領等				
実施方法	直接実施					国庫・ 県単	国庫補助事業・ 県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	国の牛肉トレーサビリティシステム(生産履歴情報追跡可能システム)に、給与飼料等の生産履歴情報の開示、農場の衛生検査等を加えた長野県独自の「信州あんしん農産物」の生産を推進し、より安全・安心な県産牛肉の供給を図る。				
	対象	・県内肉用牛肥育農家 ・事業参加農場から出荷される長野県産牛肉				
	目指すべき姿	安心・安全でこだわりを持った長野県産牛肉の生産及び消費を拡大する。				
	事業内容	・「信州あんしん農産物」参加農場の拡大 ・家畜保健衛生所による参加農場の飼育管理記録及び衛生管理状況の確認(3回/年) ・家畜保健衛生所による参加農場の食中毒原因菌の衛生検査(3回/年、1農場当たり検体数 糞便:飼養頭数の5% 環境材料:5検体) ・参画農場出荷牛肉のうち脂肪交雑・オレイン酸含有量が一定以上のものについては「信州プレミアム牛肉」に認定される				

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	3,945	4,725	4,611	需用費 (参加農場の衛生検査:消耗品費、医薬材料費):4,558千円
	決算額 (B)	千円	3,945	4,635		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	2,145	2,467	2,461	
	概算人件費	人	1.15	1.15	1.15	
	概算人件費 (C)	千円	9,565	9,497	9,497	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	13,510	14,132	14,108	
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	参加農場の衛生検査(活)	検体	4,157	4,333	3,200	・参加農場巡回時に衛生管理の問題点の指摘及び改善の確認を行った。 ・検査マニュアルについて出荷牛検査を重視した内容に改正した。 (効率指標 算出式) 概算事業費/参加農場の衛生検査数
	参加農場数(活)	戸	120	125	126	
	信州プレミアム牛肉認定頭数(活)	頭	844	1,182	1,100	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 衛生検査1検体当たりコスト	千円/件	3.25	3.26	4.41	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	・参加農場数を124戸に拡大する ・参加農場の衛生検査を徹底し4,300検体の検査を実施する ・参加農場の拡大により信州プレミアム牛肉の認定頭数を850頭に伸ばす	・参加農場数は125戸に拡大した ・農場の衛生検査を4,333検体について実施した。 ・信州プレミアム牛肉の認定頭数は1,182頭と目標の1.4倍に伸びた	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・農産物の安全性に対する消費者の関心は非常に高まっている。 ・公的機関による生産農場への衛生指導、管理の徹底、衛生検査により、生産物の安全性に対する信頼を高められる。 ・プレミアム牛肉認定に関する付加価値が生産者へ反映された場合、手数料徴収を検討する。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・トレーサビリティ、飼養衛生管理情報の提供、県の衛生検査及び飼養管理指導の徹底による県産牛肉の安全・安心確保は、今まで以上に強く求められている。 ・参加農場の拡大により、認定頭数が大幅に伸びた「信州プレミアム牛肉」のブランドを維持し、生産現場に対する消費者の信頼に応えるために、引き続き県の主導で県産牛肉の安全対策を進める。				
	特記事項					